

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050010

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	4	商工業の振興	事 業 優 先 度		A	
単位施策	1	事業所の体づくりへの支援	政 策 事 務 分 類	1	単独自治事務(例規)	
事業名	商工業振興事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	小規模事業者及び商工業者の数(商工会員)				#N/A	
事業目標	170企業		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	有	雄武町商工業振興事業補助金交付規則	
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 3 0 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	商工会による小規模事業者の支援に関する法律に基づく経営改善普及事業に係る補助	商工会に対する補助金	商工会に対する補助金	商工会に対する補助金	商工会に対する補助金	商工会に対する補助金
	事業費(千円)	50,000	10,000	10,000	10,000	10,000
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	50,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	20,000	10,000	10,000	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	20,000	10,000	10,000			
関 連 事 項	特定財源の名称	【 評 価 ・ 実 績 】	(実施内容等) 商工会に対する補助金 加盟事業所数 159事業所	(実施内容等) 商工会に対する補助金 加盟事業所数 159事業所	(実施内容等)	(実施内容等)
第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	170企業	170企業	170企業	170企業	170企業
	年度達成率	100%	100%	0%	0%	0%
後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	20%	40%	40%	40%	40%
	備考欄					

事業名	商工業振興事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	雄武町商工会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	小規模事業者及び商工会会員数								
抱える課題やニーズ	商工会の指導体制強化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	商工会の指導体制強化を図ることで町内小規模事業者の経営改善を実現し、購買力の町外流出防止と商店街の再生を目指す。	① 会員数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>170人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>159人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>93.5%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	170人	実績値	159人	達成度	93.5%
目標年度	令和元年度										
目標値	170人										
実績値	159人										
達成度	93.5%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	消費者ニーズの適切な把握と各商店の経営効率改善により、商工業の活性化が図られる。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度	
目標年度	令和元年度										
目標値											
実績値											
達成度											
内容(どのような手段で何を行ったか)	商工会への人件費・指導事業費補助 ・指導人件費(事業費-国・道補助金)×80%補助 ・指導事業費(事業費-国・道補助金)×70%補助										

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	商工会は小規模事業者の経営改善を支援することが法律で定められており、これを指導する職員の配置は必須である。しかし、商工会は自己財源による運営は困難であり、商工業の経営健全化推進の観点から、町が支援することが適当である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	目標値を下回る結果となった。しかし、長期にわたる景気低迷や後継者不在等の理由から、廃業する店舗(商工会脱退)が顕著となるなか前年と同じ会員数を維持しており、商店街再生を目的とした事業を実施するなど、課題の解決に向けた新たな取組を計画・実施している。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	本補助金は、細部にわたって精査の上で金額を算定しており、今後の飛躍的な削減は見込めないものと判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	特定団体への補助であるが、商工会は商工会法により定められている公共性の高い団体であることから、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
目標達成度は下回っているが、社会情勢からやむを得ないものであり、また商工会の運営財源の確保及び商工業の経営健全化推進の観点から、町が支援することが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
現在、商工会では経営発達支援計画の認定を受け、伴走型小規模事業者支援事業や拠点販売事業等、限られた予算・人員の中で新たな事業展開を実施しており、今後の商店街活性化のため、現状どおりの支援が必要と考える。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050020

政策目標	1 【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 雄武町中小企業等融資あっせん条例に基づいた事業 新条例は、令和2年3月31日限り、その効力を失う。
基本施策	4 商工業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 事業所の体づくりへの支援	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	中小企業等振興事業	見直し年度	令和元年度	
事業期間	平成30年度～令和4年度	担 当 年 課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関 係 課	#N/A	
事業指標	施設建設等件数及び融資貸付件数		#N/A	
事業目標	施設建設等件数10件、融資貸付件数45件	ハート／ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
町民参加	無	関係例規・法令名	有 雄武町中小企業等振興助成条例、雄武町中小企業等融資あっせん条例	
町民協働		関係個別計画名	無	

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	1 中小企業振興資金の融資	1 中小企業振興資金の融資 200,000千円(預託貸付金)	1 中小企業振興資金の融資 200,000千円(預託貸付金)	1 中小企業振興資金の融資 200,000千円(預託貸付金)	1 中小企業振興資金の融資 200,000千円(預託貸付金)	1 中小企業振興資金の融資 200,000千円(預託貸付金)	
	2 1の融資に係る利子補助	2 1の融資に係る利子補助 7,100千円	2 1の融資に係る利子補助 7,100千円	2 1の融資に係る利子補助 7,100千円	2 1の融資に係る利子補助 7,100千円	2 1の融資に係る利子補助 7,100千円	
	3 1の融資に係る保証料補助	3 1の融資に係る保証料補助 3,500千円	3 1の融資に係る保証料補助 3,500千円	3 1の融資に係る保証料補助 3,500千円	3 1の融資に係る保証料補助 3,500千円	3 1の融資に係る保証料補助 3,500千円	
	4 施設設置に対する助成	4 施設設置に対する助成 ※施設新設・増設～ 1/3助成(限度額5,000千円) ※施設改修～ 1/3助成(限度額2,000千円) ※特産物開発～ 3/10助成(限度額3,000千円)	4 施設設置に対する助成 ※施設新設・増設～ 1/3助成(限度額5,000千円) ※施設改修～ 1/3助成(限度額2,000千円) ※特産物開発～ 3/10助成(限度額3,000千円)	4 施設設置に対する助成 ※施設新設・増設～ 1/3助成(限度額5,000千円) ※施設改修～ 1/3助成(限度額2,000千円) ※特産物開発～ 3/10助成(限度額3,000千円)	4 施設設置に対する助成 ※施設新設・増設～ 1/3助成(限度額5,000千円) ※施設改修～ 1/3助成(限度額2,000千円) ※特産物開発～ 3/10助成(限度額3,000千円)	4 施設設置に対する助成 ※施設新設・増設～ 1/3助成(限度額5,000千円) ※施設改修～ 1/3助成(限度額2,000千円) ※特産物開発～ 3/10助成(限度額3,000千円)	4 施設設置に対する助成 ※施設新設・増設～ 1/3助成(限度額5,000千円) ※施設改修～ 1/3助成(限度額2,000千円) ※特産物開発～ 3/10助成(限度額3,000千円)
	5 現条例の検証						
	6 新条例の制定						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	1,128,000	225,600	225,600	225,600	225,600	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
実 績 事 業 費	事業費(千円)	467,924	227,792	240,132	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	中小企業金融対策貸付 預託金	【評価・実績】	・利子、保証料補助 新規融資件数:24件 新規融資額:202,150千円 ・施設設置、新製品開発等に係る 助成7件、助成額:19,632千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	・利子、保証料補助 新規融資件数:17件 新規融資額:131,780千円 ・施設設置、新製品開発等に係る 助成17件、助成額:34,286千円 ・現行条例の改正 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	施設建設等件数10件、融資年45件	施設建設等件数10件、融資年45件	施設建設等件数10件、融資年45件	施設建設等件数10件、融資年45件	施設建設等件数10件、融資年45件
		年度達成率	101%	106%	0%	0%	0%
	後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	20%	41%	41%	41%	41%
	備考欄						

事業名	中小企業等振興事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町内中小企業者等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	融資実行件数及び施設整備等助成件数								
抱える課題やニーズ	経済の低迷により企業収益が向上せず、設備投資等のため継続的な資金調達が必要となっている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	貸付制度の利用により、継続的な事業展開が可能となる。また、保証料補助によって中小企業ゆえに高額となりがちな保証料の負担軽減を図る。施設整備の補助によって町内企業の生産性及び福利厚生を向上させ、経営基盤の強化を図る。	① 融資件数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>45件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>17件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>37.8%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	45件	実績値	17件	達成度	37.8%
目標年度	令和元年度										
目標値	45件										
実績値	17件										
達成度	37.8%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	円滑な融資が継続されることにより、地元中小企業の資金調達が容易となり、経営基盤の安定が図られる。	② 施設設置・新製品開発等に対する助成件数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>10件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>17件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>170.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	10件	実績値	17件	達成度	170.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	10件										
実績値	17件										
達成度	170.0%										
内容(どのような手段で何を行ったか)	中小企業融資に係る保証料及び利子の補給補助	融資を受けた中小企業者が支払った保証料の50%及び利子全額(3ヵ年)を補給する。									
	各金融機関への貸付金預託	地域の中小企業等の多岐にわたる経済活動を支援するため、町は一定範囲にて町内信用金庫に資金を預託し、各信用金庫は独自資金に預託金を加えることにより融資の原資を確保している。									
	施設整備に対する補助	施設等の新設及び改修等については対象経費の1/3(上限~新設:5,000千円、改修:2,000千円)、特産品開発等については対象経費の30/100(上限:3,000千円)を助成する。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

地域経済の活性化と中小企業等の経営基盤安定のため、地元中小企業者が使いやすい制度資金及び施設整備助成は必要と考える。

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	本事業の実施により、円滑かつ継続的な資金調達が確保されており、本事業の有効性は高いと判断する。また、施設設備等に対する助成についても、積極的な設備投資等が図られており、概ね有効だと判断する。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	中小企業の支払った保証料及び利子実績に応じた補給補助であるため、過剰な補給補助は発生していない。施設等への助成についても、企業に対する自主的な努力を助長する形となっており、効率的と判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	法人及び個人事業主を含め、町内全ての中小企業者等を対象としており、公平と判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本事業については、平成29年度から新たな融資制度を開始しており、3年目を迎えることから、当初計画を下回る融資となっているが、継続的な資金調達が確保されており、計画どおり事業を進める必要があると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
商工会並びに町内金融機関と連携をとり、中小企業者が継続的な事業展開が可能となるよう、引き続き、融資あつせん等を行うとともに、施設整備助成支援を継続して実施する。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050030

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	4	商工業の振興	事 業 優 先 度		A	
単位施策	1	事業所の体づくりへの支援	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	商業活性化推進事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	町内商工業の販売額				#N/A	
事業目標	販売率100%		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に対する補助	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に対する補助(プレミアム率20%)	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に対する補助(プレミアム率20%)	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に対する補助(プレミアム率20%)	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に対する補助(プレミアム率20%)	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に対する補助(プレミアム率20%)	
	事業費(千円)	30,000	6,000	6,000	6,000	6,000	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	30,000	6,000	6,000	6,000	6,000		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	12,000	6,000	6,000	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	12,000	6,000	6,000				
関 連 事 項	特定財源の名称	【 評 価 ・ 実 績 】	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に対する補助 発行枚数: 54,000枚 売上金額: 36,000千円 使用実績: 35,905千円	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に対する補助 発行枚数: 54,000枚 売上金額: 36,000千円 使用実績: 35,939千円	(実施内容等)	(実施内容等)	
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	第5期計画からの継続 (継続有り)		年度目標値 販売率100%	販売率100%	販売率100%	販売率100%	販売率100%
			年度達成率 100%	100%	0%	0%	0%
	後期計画への継続 (継続有り)		全体達成率 20%	40%	40%	40%	40%
	備考欄						

事業名	商業活性化推進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町内商工業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	販売枚数及び換金額								
抱える課題やニーズ	町外の量販店・郊外大型ショッピングセンターへ顧客が流出し、町内小売業の活力が低下している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	地元での購買意欲を喚起し、販売額の向上を目指す。	① 販売枚数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>54,000枚</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>54,000枚</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	54,000枚	実績値	54,000枚	達成度	100.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	54,000枚										
実績値	54,000枚										
達成度	100.0%										
その結果、どのような成果を実現したか ※成果=目的	町経済が活性化し、地元商工業者の経営基盤が安定する。	② 換金額	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>36,000千円</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>35,939千円</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>99.8%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	36,000千円	実績値	35,939千円	達成度	99.8%
目標年度	令和元年度										
目標値	36,000千円										
実績値	35,939千円										
達成度	99.8%										
内容(どのような手段で何をを行ったか)	プレミアム商品券の発行に係る割増額の補助	12,000円分の商品券のプレミア額2,000円分を町が負担(100%)、その他発行に係る経費(印刷・広告宣伝等)は商工会が負担。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	経済の長期低迷と購買力の町外流出が続中、地元における消費拡大のため、当面は行政の支援が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	計画枚数を完売していることから見て、町民への定着も十分と考える。また、国及び北海道の交付金が終了したなか、プレミアム率20%を維持していることや地域商工業者が併せて行っている自助努力により、相乗効果が発生しており、経済効果があったと判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町外への顧客流出、大型量販店の参入などにより流通形態が変化しているなか、商店経営の一助となっており、効果的である。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	プレミアム商品券の発行については、町民が利益を受けるものであり、また、限度額を設定していることから公平と判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
プレミアム率の維持により、非常に高い効果が得られている。商店経営の一助等の位置付けもあることから、町内商店街の自助努力を引き続き促進していくためにも必要と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
プレミアム率の維持により地元での購買意欲が喚起されており、町経済の活性化と地元商工業者の経営基盤強化が図られていることから、今後とも継続して実施する。		

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止

事業名	小規模企業者創業支援事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町内小規模事業者等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	創業件数
抱える課題やニーズ	近隣市町村への大型店の出店や経営者の高齢化、後継者不足による小規模事業者の減少		
どのような状態になることを目指したのか(意図)	新規創業者の増加	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	新規創業により商店街の活性化とともに、空き店舗の解消が図られる。		
内容(どのような手段で何を行ったか)	創業支援	①	創業件数
		②	
	創業支援助成金 5,000千円×1件		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	経営者の高齢化、後継者不足により小規模事業者が減少していることから、商店街の活性化や空き店舗の解消を図るため、新規創業に対する支援が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	経営者の高齢化、後継者不足により小規模事業者が減少しているなか、創業を支援することで商店街の活性化に繋がることから有効的である。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	経営者の高齢化、後継者不足により空き店舗が増加しているなか、商店経営の一助となり、利用する町民の利便性も向上することから、効果的である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	法人及び個人事業主を含め、町内全ての方を対象としていることから、公平と判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
小規模事業者の創業支援を行うことにより、商店街の活性化及び町民の利便性向上につながる本事業については継続的事業を進める必要があると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
小規模事業者の創業が適切に進むよう、商工会並びに町内金融機関と連携をとり事業を進めていく。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050050

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	4	商工業の振興	事 業 優 先 度		A	
単位施策	2	商店街の活性化と買い物環境づくりの推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	ふるさと夏まつり盆踊り大会補助事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	夏まつり開催				#N/A	
事業目標	夏まつりの開催年1回		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関 係 例 規 ・ 法 令 名	無		
町民協働	無		関 係 個 別 計 画 名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	夏まつり開催に係る運営補助金	夏まつり開催に係る運営補助金	夏まつり開催に係る運営補助金	夏まつり開催に係る運営補助金	夏まつり開催に係る運営補助金	夏まつり開催に係る運営補助金	
	事業費(千円)	2,500	500	500	500	500	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	2,500	500	500	500	500		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,000	500	500	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	1,000	500	500				
関 連 事 項	特定財源の名称	【 評 価 ・ 実 績 】	(実施内容等) 夏まつり開催に係る運営補助金 入込観客数:300人	(実施内容等) 夏まつり開催に係る運営補助金 入込観客数:400人	(実施内容等)	(実施内容等)	
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	第5期計画からの継続 (継続有り)		年度目標値	年1回	年1回	年1回	年1回
			年度達成率	100%	100%	0%	0%
	後期計画への継続 (継続有り)		全体達成率	20%	40%	40%	40%
			備考欄				

事業名	ふるさと夏まつり盆踊り大会補助事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	雄武町大通り商店街協同組合	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	イベント実施回数								
抱える課題やニーズ	予算上の制約と関係者の高齢化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	イベントを実施することで商店街の賑わいを演出し、町民同士・家族同士のふれあいの機会を作る。	① 実施回数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1回</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1回</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	1回	実績値	1回	達成度	100.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	1回										
実績値	1回										
達成度	100.0%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	商店街関係者のみならず多くの団体等が関わることにより、町全体の行事として定着し、賑わいのある商店街実現の一端を担う。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度	
目標年度	令和元年度										
目標値											
実績値											
達成度											
内容(どのような手段で何をを行ったか)	補助金の支出	「サンパロットまつり」開催に対する補助金支出。 (子ども盆踊り、仮装盆踊り、抽選会、縁日、売店等の各種アトラクションの実施等)									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	当事業は大通り商店街協同組合の財政上の制約によりイベント開催が危惧されたことに起因するものであり、イベント自体も定着してきていることから、今後とも支援が必要と考える。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	商店街関係者のみならず多くの団体等が関わることにより、町全体の行事として定着しており、参加者は盆踊りのほか出店等を満喫し、期待した効果はあったと判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	実行団体にあつては、限られた予算・人員の中で企画実施しており、効率的と判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民広くを対象としたイベント開催事業であり、雄武町の短い夏のイベントとして定着してきていることから、公平と判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町民のほか、帰省中の町民が集い盆踊りや抽選会を楽しんでいることから、目標は達成されたと判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
商店街関係者のみならず多くの団体等が関わることにより、町全体の行事として定着している。更には仮装盆踊りのような参加型イベントでもあるため継続して実施する必要がある。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050050

政策目標	1 【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	4 商工業の振興	事 業 優 先 度	B	平成30年度から令和2年度までの長期継続契約 ※令和3年度以降、3年ごとに長期継続契約
単位施策	2 商店街の活性化と買い物環境づくりの推進	政 策 事 務 分 類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	地域交流センター管理・清掃業務委託事業	見 直 し 年 度		
事業期間	平成30年度～令和4年度	担 当 年 課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関 係 課	#N/A	
事業指標	施設の維持管理	ハート／ソフト事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	適切な維持管理	関係例規・法令名	有 地域交流センター条例	
町民参加	無	関係個別計画名	無	
町民協働				

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 30 年度 事 業 内 容	令和 元 年 度 事 業 内 容	令和 2 年 度 事 業 内 容	令和 3 年 度 事 業 内 容	令和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	地域交流センター管理・清掃委託	地域交流センター管理・清掃委託	地域交流センター管理・清掃委託	地域交流センター管理・清掃委託	地域交流センター管理・清掃委託	地域交流センター管理・清掃委託
	事業費(千円)	31,939	6,310	6,366	6,421	6,421
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	31,939	6,310	6,366	6,421	6,421	6,421
実 績 事 業 費	事業費(千円)	12,647	6,300	6,347	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	12,647	6,300	6,347			
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等) 地域交流センター管理・清掃委託 利用者総数 11,558人	(実施内容等) 地域交流センター管理・清掃委託 利用者総数 13,631人	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】					
	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	A-継続／現状維持	A-継続／現状維持	A-継続／現状維持			
	適切な維持管理	適切な維持管理	適切な維持管理	適切な維持管理	適切な維持管理	適切な維持管理
	第5期計画からの継続(継続有り)	年度目標値	100%	100%	0%	0%
後期計画への継続(継続有り)	年度達成率	20%	40%	40%	40%	40%
	全体達成率					
	備考欄					

事業名	地域交流センター管理・清掃業務委託事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民、来町者		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	維持管理	
抱える課題やニーズ	利用者が快適に利用するには適切な運営・管理を行う必要がある。			指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
どのような状態になることを目指したのか(意図)	地域交流センターは市街地の中心に位置し、「道の駅」の指定も受けている。通年で多くの人が訪れる雄武の顔とも言える施設であることから、良好な管理・運営により利用者への満足度を高める。		① 適切な維持管理		目標年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的	清潔で快適な施設の提供に加え、特産品の販売や観光情報の発信によってサービス向上を目指す。			②	目標値
			実績値		1式
内容(どのような手段で何をを行ったか)	施設の維持管理・清掃業務の委託	施設内に事務所を開設している商工会への業務委託	達成度	100.0 %	
			目標年度	令和元年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地域交流センターは市街地の中心に位置し、「道の駅」の指定も受けている。通年で多くの人が訪れる雄武の顔とも言える施設であることから、適切な管理・運営が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	地域交流センターに事務所を開設している商工会に委託していることから、施設の管理状況の報告、異常箇所の報告等の迅速な対応による適切な維持管理が行われており、有効と判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	公共工事に使用する労務単価を使用するなど、適正な委託料の算定に努めている。また、消耗品については委託契約の中に含めず町で購入している。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民誰もが使用できる施設であることから公平と判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
施設の管理状況の報告、異常箇所の報告等の迅速な対応による適切な維持管理が実施されており、目標は達成されていると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
施設の管理状況の報告、異常箇所の報告等の迅速な対応による適切な維持管理が行われており、当面、継続して実施する必要がある。		

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050070

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	4	商工業の振興	事 業 優 先 度		B	
単位施策	2	商店街の活性化と買い物環境づくりの推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	大通り商店街協同組合街灯費補助事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	組合の安定運営				#N/A	
事業目標	1組合		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	大通り商店街協同組合に対する街灯費補助	大通り商店街協同組合に対する街灯費補助	大通り商店街協同組合に対する街灯費補助	大通り商店街協同組合に対する街灯費補助	大通り商店街協同組合に対する街灯費補助	大通り商店街協同組合に対する街灯費補助	
	事業費(千円)	1,000	200	200	200	200	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	1,000	200	200	200	200		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	400	200	200	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	400	200	200				
関 連 事 項	特定財源の名称	【 評 価 ・ 実 績 】	(実施内容等) 大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助(街灯費補助)	(実施内容等) 大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助(街灯費補助)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果		
	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持		
第5期計画からの継続(継続有り)	年度目標値	1組合	1組合	1組合	1組合	1組合	
	年度達成率	100%	100%	0%	0%	0%	
後期計画への継続(継続有り)	全体達成率	20%	40%	40%	40%	40%	
	備考欄						

事業名	大通り商店街協同組合街灯費補助事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

様式1
令和元年度実施
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	雄武町大通り商店街協同組合	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	組合数								
抱える課題やニーズ	組合員の減少(廃業等)、組織体制の強化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	買い物客への利便性、防犯性の向上により、商店街の活性化を図る。	① 組合数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1組合</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1組合</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	1組合	実績値	1組合	達成度	100.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	1組合										
実績値	1組合										
達成度	100.0%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	商店街活性化による組織強化、地域の防犯性の向上	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度	
目標年度	令和元年度										
目標値											
実績値											
達成度											
内容(どのような手段で何をを行ったか)	街灯電気料の補助	大通り商店街協同組合に対する街灯電気料金の補助									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本来は自助努力により街灯費等の負担を行うべきであるが、組合の維持運営に係る経費増から困難であり、夜間の防犯上及び商店街の集客上、公共性の高いものと判断されることから、町による補助が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	これまでに商店街での犯罪が少ないこと、また、限られた予算においてふるさと夏まつり盆踊り大会の開催や冬期イルミネーションの設置による街並み装飾・植栽等の活動を行っていることを鑑み、有効と判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	街灯料金に対する補助であること、また、省エネ街灯(LED)へ転換したことにより、ランニングコストが抑えられており効率的と判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	各自治会への街灯電気料補助に準じたものであり、公共性の高い場所であることから、公平と判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公共性の高い場所にある街灯電気料の補助であり、夜間の防犯、商店街の集客に対して効果がある。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
LED街灯へ転換したことにより街灯費は削減されているが、対象が公共性の高い場所であることから現行の補助を継続する必要がある。		

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050080

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	4	商工業の振興	事 業 優 先 度		A	
単位施策	2	商店街の活性化と買い物環境づくりの推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	地域の拠点(小さな拠点)における購買・福祉・コミュニティ機能向上事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課	2	財務企画課	
事業指標	移動コンビニ設置拠点数			5	保健福祉課	
事業目標	3箇所(地区)		ハート* / ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	商工会に対する補助金	○地域の拠点(小さな拠点)における購買・福祉・コミュニティ機能向上事業 事業費:13,248千円 人件費、車両リース料他	○地域の拠点(小さな拠点)における購買・福祉・コミュニティ機能向上事業 事業費:12,998千円 人件費、車両リース料他	○地域の拠点(小さな拠点)における購買・福祉・コミュニティ機能向上事業 事業費:7,398千円 人件費他	○地域の拠点(小さな拠点)における購買・福祉・コミュニティ機能向上事業 事業費:7,398千円 人件費他	○地域の拠点(小さな拠点)における購買・福祉・コミュニティ機能向上事業 事業費:7,398千円 人件費他	
	1 買物弱者に対する拠点販売事業に対する補助金						
	2 商業活性化事業に対する補助金						
3 副次的効果として、高齢者安否確認に対する補助金							
計 画 事 業 費	事業費(千円)	48,440	13,248	12,998	7,398	7,398	
	財源内訳	国庫支出金	14,248	7,124	7,124		
		道支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
		一般財源	34,192	6,124	5,874	7,398	7,398
実 績 事 業 費	事業費(千円)	26,246	13,248	12,998	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	14,248	7,124	7,124		
		道支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
		一般財源	11,998	6,124	5,874		
関 連 事 項	特定財源の名称	【 評 価 ・ 実 績 】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	地方創生推進交付金		拠点販売事業実施に係る事業費を補助	拠点販売事業実施に係る事業費を補助			
第5期計画からの継続(継続有り)	年度目標値	拠点販売設置数2箇所	拠点販売設置数3箇所	拠点販売設置数3箇所	拠点販売設置数3箇所	拠点販売設置数3箇所	
	年度達成率	100%	100%	0%	0%	0%	
後期計画への継続(継続有り)	全体達成率	27%	54%	54%	54%	54%	
	備考欄						

事業名	地域の拠点(小さな拠点)における購買・福祉・コミュニティ機能向上事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	移動コンビニ設置拠点数								
抱える課題やニーズ	市街地、郊外地区の居住者で交通手段の持たない高齢者、独居老人世帯が増加している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	拠点販売事業による買物弱者の解消と町民の買物環境向上、地域コミュニティの活性化	① 移動コンビニ設置拠点数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>3箇所</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>3箇所</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	3箇所	実績値	3箇所	達成度	100.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	3箇所										
実績値	3箇所										
達成度	100.0%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	巡回先の住民支援及び商工業者の活力の向上	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度	
目標年度	令和元年度										
目標値											
実績値											
達成度											
内容(どのような手段で何をを行ったか)	「地域の拠点(小さな拠点)における購買・福祉・コミュニティ機能向上事業」実施に係る補助	冷凍・冷蔵機能を持つ2トントラックロングを改造した拠点販売車両により、集落地域の地区住民センターなどを拠点として、毎週定期的に出向いて日用品や生鮮品の販売、代行サービスなどを行った。(登録会員数 H30:140名⇒R01:140名 増減なし)									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	商店街での買い物に不便さを強いられている高齢者や商工業者の活力の向上を目指すためにも本事業の補助は必要と判断される。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	拠点販売の実施により各地区から事業実施の要望が多い。登録会員数も140名と、当初の想定より多くの登録があり、高齢者等の利便性が図られている。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	買物弱者への利便性の向上ばかりでなく、事業者及び商店街全体の活性化の一助となっている。また、訪問による安否確認など、地域福祉の増進にも寄与している。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	実施主体である商工会並びに加盟店への負担があること、商店街での買い物に不便を強いられている高齢者等へ実施している事業であること(登録に関する負担はない)などから、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
高齢者等の買物環境の利便性及び町内商店の活性化の一助となる重要な事業である。また、拠点販売の実施により各地区から事業実施の要望が多く、登録会員数も増加している。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
拠点販売の実施により更なる買物環境の利便性向上が図られ、また、各地区から事業実施の要望が多く、登録会員も高止まりで推移していることから、今後も継続して事業を進めることが適当である。		

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050090

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	4	商工業の振興	事 業 優 先 度		A	
単位施策	2	商店街の活性化と買い物環境づくりの推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	地域交流センター整備事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和2年度		担 当 年 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	施設の整備				#N/A	
事業目標	施設の整備		ハート／ソフト 事業区分	1	ハード事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	地域交流センター周辺の整備を行い、道の駅機能としての観光客及びコミュニティ施設としての利用者の利便性及び快適性の向上を図る。	公衆(屋外)トイレ洋式化工事 ～6基(男2・女3・身障1) ※H29補正繰越事業	地域交流センター他自動ドア 改修工事	地域交流センター屋外分煙施設 設置工事		
	事業費(千円)	1,650	0	1,400	250	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	1,650	0	1,400	250		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,621	2,246	1,375	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	3,621	2,246	1,375			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 公衆(屋外)トイレ洋式化改修 工事	(実施内容等) 地域交流センター他自動ドア 改修工事	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】					
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	施設の整備	施設の整備	施設の整備	
		年度達成率	#DIV/0!	98%	0%	#DIV/0!
	後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	136%	219%	219%	219%
	備考欄					

事業名	地域交流センター整備事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	地域交流センター利用者		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	施設の整備
抱える課題やニーズ	経年による設備、備品の更新			
どのような状態になることを目指したのか(意図)	利用者の利便性向上		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	道の駅機能としての観光客及びコミュニティ施設としての利用者の利便性の向上			
内容(どのような手段で何を行ったか)	地域交流センター他自動ドア改修工事	自動ドア改修4基(地域交流センター2基、屋外公衆トイレ2基)		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民及び観光客が多く利用する施設であることから、利用環境の整備が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	利用者数の増加等明確な効果が直ちに発現しないものの、良好な周辺環境整備によって利用者のニーズに応えているものと判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	施設の規模、必要性を精査したうえで、事業を進めたため、コストを抑制できた。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民及び観光客が多く利用する施設整備(周辺整備)であることから公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町民及び観光客が多く利用する施設整備(周辺整備)であり、今回の整備によって利用者のニーズに応えるものとなった。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
観光施設及びコミュニティ施設としての利用者の利便性向上を図るため、計画通り事業を進める必要がある。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050100

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	4	商工業の振興	事 業 優 先 度		A	
単位施策	2	商店街の活性化と買い物環境づくりの推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	空き店舗活用事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課	5	保健福祉課	
事業指標	空き店舗の有効活用				#N/A	
事業目標	対象店舗2店		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 30 年度 事 業 内 容	令和 元 年 度 事 業 内 容	令和 2 年 度 事 業 内 容	令和 3 年 度 事 業 内 容	令和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	空き店舗活用に対する運営費補助 ・新規創業を目指した短期チャレンジショップの提供 ・特産品開発を目指した試作販売事業の補助 ・商店街の休憩施設と同時に高齢者向けサロンの提供 ・地域コミュニティの核となる賑わいの場の提供	空き店舗活用に対する運営費補助	空き店舗活用に対する運営費補助	空き店舗活用に対する運営費補助	空き店舗活用に対する運営費補助	空き店舗活用に対する運営費補助
	事業費(千円)	5,500	1,500	1,000	1,000	1,000
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	5,500	1,500	1,000	1,000	1,000	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,500	1,500	1,000	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	2,500	1,500	1,000			
関 連 事 項	特定財源の名称	【 評 価 ・ 実 績 】	(実施内容等) 空き店舗活用事業に対する補助	(実施内容等) 空き店舗活用事業に対する補助	(実施内容等)	(実施内容等)
第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 対象店舗2店	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 対象店舗2店	※事務事業評価結果 対象店舗2店	※事務事業評価結果 対象店舗2店	※事務事業評価結果 対象店舗2店
後期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	100%	100%	0%	0%	0%
	全体達成率	27%	45%	45%	45%	45%
	備考欄					

事業名	空き店舗活用事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	空き店舗活用数										
抱える課題やニーズ	消費の流出による町内商店街の空洞化	指標(指標計算式/解説)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">目標値及び実績値</th> </tr> <tr> <td>目標年度</td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標値及び実績値		目標年度	令和元年度	目標値	2件	実績値	2件	達成度	100.0%
目標値及び実績値													
目標年度	令和元年度												
目標値	2件												
実績値	2件												
達成度	100.0%												
どのような状態になることを目指したのか(意図)	空き店舗を有効に活用することで、地域住民のニーズに沿った商店街の再生を目指す。	① 空き店舗活用数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度			
目標年度	令和元年度												
目標値													
実績値													
達成度													
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	地域住民の交流スペースとしての活用及び試作販売事業等の実施により商店街の活性化が図られる。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度			
目標年度	令和元年度												
目標値													
実績値													
達成度													
内容(どのような手段で何を行ったか)	補助金の支出	空き店舗活用事業に対する補助金支出。 (賑わいの場の創出、チャレンジショップ開催・試作販売事業の運営)											

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	少子高齢化の著しい進展と消費の流出による町内商店街の空洞化に対し、速やかな対策による地域の活性化を図るため、本事業の補助は必要と判断する。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	シニア世代を中心にコミュニティスペースとして活用されているほか、チャレンジショップや試作販売事業についても多くの客が訪れており、有効と判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	限られた予算・人員の中で企画実施しており、効率的と判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	本事業については、シニア世代を中心に広く活用されているほか、チャレンジショップや試作販売事業においても活用されていることから公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
シニア世代からはコミュニティスペースとして活用されているほか、チャレンジショップや試作販売事業においても活用されている。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
空き店舗が増加傾向にあるなか、現行の活用に加え、新たな創業支援施策を実施するうえでも重要な施策であることから、事業の継続が必要である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050120

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	4	商工業の振興	事 業 優 先 度		A	
単位施策	3	勤労者の就労環境の向上	政 策 事 務 分 類	2	単独自治事務(個別計画)	
事業名	勤労者雇用促進事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課	10	建設水道課	
事業指標	通年雇用の促進及び冬季就労者の雇用				#N/A	
事業目標	通年雇用者5人及び冬季就労人員15人		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	有	地域雇用開発促進法	
町民協働	無		関係個別計画名	無	通年雇用促進支援事業計画	

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 30 年度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	西紋別地域通年雇用促進支援協議会への負担 冬季就労対策事業	○西紋別地域通年雇用促進 支援協議会への負担金 150千円 ○冬季就労対策事業(除雪業務) 2, 205千円	○西紋別地域通年雇用促進 支援協議会への負担金 150千円 ○冬季就労対策事業(除雪業務) 2, 205千円	○西紋別地域通年雇用促進 支援協議会への負担金 150千円 ○冬季就労対策事業(除雪業務) 2, 350千円	○西紋別地域通年雇用促進 支援協議会への負担金 150千円 ○冬季就労対策事業(除雪業務) 2, 350千円	○西紋別地域通年雇用促進 支援協議会への負担金 150千円 ○冬季就労対策事業(除雪業務) 2, 350千円
	事業費(千円)	12,210	2,355	2,355	2,500	2,500
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	12,210	2,355	2,355	2,500	2,500	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	4,547	2,273	2,274	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	4,547	2,273	2,274			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ・紋別地域通年雇用促進支援協 議会への負担金 ・冬季就労対策事業(除雪業務) 就労実人員 10人	(実施内容等) ・紋別地域通年雇用促進支援協 議会への負担金 ・冬季就労対策事業(除雪業務) 就労実人員 10人	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】					
	※事務事業評価結果		※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	通年5人・冬季15人	通年5人・冬季15人	通年5人・冬季15人	通年5人・冬季15人
	後期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	97%	97%	0%	0%
	全体達成率	19%	37%	37%	37%	
	備考欄					

事業名	勤労者雇用促進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	冬期間失業となる労働者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	通年雇用者及び冬期間就労人口	
抱える課題やニーズ	通年雇用を確保できないことにより、生活基盤が不安定となり、消費活動が鈍化する。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	冬期失業者の解消	① 冬期就労人員	目標年度	令和元年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	通年雇用の実現によって生活基盤が安定し、それによる購買力向上が地域経済活性化をもたらす。		目標値	15人
内容(どのような手段で何を行ったか)	除排雪業務の委託	②	実績値	10人
			達成度	66.7%
	協議会への負担金支出		目標年度	令和元年度
			目標値	
		実績値		
		達成度		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	除排雪作業等については対象が公共性の高い場所であることから、恒久的な実施が必要である。また、通年雇用対策については、当町のみならず周辺市町村共通の課題であり、町単独では事業実施範囲が限定される可能性があることから、広域連携が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	除排雪作業等については、目標値を下回っているが、冬期間の雇用対策となっていることから、概ね効果があったと判断する。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	除排雪作業等については、公共工事に使用する労務単価を使用するなど、効率的と判断する。また、西紋別地域通年雇用促進支援協議会は市町村からの負担金の他、国・北海道からの委託料が主たる財源であり、総体事業費に対する市町村負担金は小額なことから、効率的であると考え。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	セミナーの開催においては、広報・チラシ等で周知を行っており、冬期就労対策事業では、公共性の高い場所の除雪であることから、公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
冬期就労対策のみならず、円滑な交通や安全性が確保されるため適当と判断する。通年雇用対策については情勢を考えて必要であると考え。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
雇用情勢の改善は見られるものの、今後とも就職促進に係る事業として協議会と連携し取り組む必要がある。除排雪作業等については、冬期間の雇用対策のために必要であり、今後も支援することが必要である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050130

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5	観光の振興	事 業 優 先 度		A	
単位施策	1	雄武観光の売り込み	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	産業観光まつり運営助成事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	産業観光まつりの実施				#N/A	
事業目標	産業観光まつりの実施年1回実施。入込数25,000人以上		ハート* / ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働			関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	実行委員会に対する助成	実行委員会に対する助成 ※第40回記念大会	実行委員会に対する助成	実行委員会に対する助成	実行委員会に対する助成	実行委員会に対する助成	
	事業費(千円)	16,500	4,500	3,000	3,000	3,000	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	1,000	1,000				
一般財源	15,500	3,500	3,000	3,000	3,000		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	7,500	4,500	3,000	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	1,000	1,000					
一般財源	6,500	3,500	3,000				
関 連 事 項	特定財源の名称	【 評 価 ・ 実 績 】	(実施内容等) 実行委員会に対する助成 観客入込数: 12,000人 実行団体売上額: 6,400千円	(実施内容等) 実行委員会に対する助成 観客入込数: 13,000人 実行団体売上額: 5,170千円	(実施内容等)	(実施内容等)	
	いきいきふるさと推進事業助成金		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
			開催回数1回	開催回数1回	開催回数1回	開催回数1回	
	第5期計画からの継続 (継続有り)		年度目標値	100%	100%	0%	0%
	後期計画への継続 (継続有り)		年度達成率	27%	45%	45%	45%
			全体達成率				
	備考欄						

事業名	産業観光まつり運営助成事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	雄武町産業観光まつり実行委員会		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説)	開催回数及び入込観客数		
抱える課題やニーズ	付加価値複合品の開発・販売等PR、核となるアトラクション等の確立			① 開催回数	目標年度	令和元年度
どのような状態になることを目指したのか(意図)	魅力あるアトラクション、付加価値販売品目の創造				目標値	1回
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	魅力あるアトラクションと付加価値販売品目の創造による集客増			実績値	1回	
内容(どのような手段で何をを行ったか)	補助金の交付	産業観光まつり開催に対する補助金の交付	② 入込観客数	達成度	100.0 %	
				目標年度	令和元年度	
			目標値	25,000人		
			実績値	13,000人		
			達成度	52.0 %		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町の物産と観光を広く町内外に紹介し、農林水産業及び商工業の振興を図るとともに、全町民が参加できるイベントであることから、必要と判断する。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	雄武町民のみならず来場者の好評を得ていることから、概ね有効と判断できる。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	事業実施にあたっては、構成団体である町内各団体から多くの人的協力を受けながら、限られた予算の中で企画実施していることから、効率的と判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民広くを対象としたイベントであり、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
好天により来場者は増加した、町の特産物が安価で購入できるとともに、各種アトラクションで楽しめることから、町外からの集客も多く、今後も農林水産業・商工業の振興・観光PRのため継続実施が必要と考える。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も農林水産業・商工業の振興・観光PRのため継続実施が必要と考える。また、集客増に向け内容の充実を引き続き検討していく。		

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050140

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5	観光の振興	事 業 優 先 度		A	
単位施策	1	雄武観光の売り込み	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	観光協会運営助成事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	協会の安定運営				#N/A	
事業目標	1協会		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	観光協会への運営費助成	○観光協会への運営費助成 ～5,629千円 ・管理費 1,740千円 ・事業費 3,889千円 ※第12回うまいもんまつり事業費 1,500千円含む ○事務局長人件費 4,146千円 ○事務局員人件費 3,470千円 ○会費収入他 △675千円	○観光協会への運営費助成 ～5,799千円 ・管理費 1,820千円 ・事業費 3,979千円 ※第13回うまいもんまつり事業費 1,500千円含む ○事務局長人件費 4,146千円 ○事務局員人件費 5,970千円 ○会費収入他 △675千円	○観光協会への運営費助成 ～7,452千円 ・管理費 1,720千円 ・事業費 5,732千円 ※第14回うまいもんまつり事業費 1,500千円含む ○事務局長人件費 4,146千円 ○事務局員人件費 5,970千円 ○会費収入他 △675千円	○観光協会への運営費助成 ～7,202千円 ・管理費 1,720千円 ・事業費 5,482千円 ※第15回うまいもんまつり事業費 2,500千円含む【記念大会】 ○事務局長人件費 4,146千円 ○事務局員人件費 5,970千円 ○会費収入他 △675千円	○観光協会への運営費助成 ～6,202千円 ・管理費 1,720千円 ・事業費 4,482千円 ※第16回うまいもんまつり事業費 1,500千円含む ○事務局長人件費 4,146千円 ○事務局員人件費 5,970千円 ○会費収入他 △675千円
	事務局長人件費等相当額助成 事務局員人件費等相当額助成					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	76,989	12,570	15,240	16,893	16,643
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	1,000				1,000	
一般財源	75,989	12,570	15,240	16,893	15,643	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	27,810	12,570	15,240	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	27,810	12,570	15,240			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	いきいきふるさと推進事業助成金	【評価・実績】	観光協会への運営費助成	観光協会への運営費助成		
第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1協会	1協会	1協会	1協会	1協会
後期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	100%	100%	0%	0%	0%
	全体達成率	16%	36%	36%	36%	36%
	備考欄					

事業名	観光協会運営助成事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	雄武町観光協会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説)	補助会員数及び観光入込数		
抱える課題やニーズ	実働人員の不足及び自主財源不足		① 補助協会数	目標年度	令和元年度
どのような状態になることを目指したのか(意図)	事務局体制の機能強化による滞在体験型観光の促進			目標値	1 協会
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	観光客の増加により、地元経済の活性化を図る。		実績値	1 協会	
内容(どのような手段で何をを行ったか)	補助金の支出	観光協会に対する補助金の交付	達成度	100.0 %	
	地域おこし協力隊員の派遣	国の制度を活用し、地域おこし協力隊員(観光支援員)を派遣(※R1年度は地域おこし協力隊の確保ができなかったため町職員を派遣)	② 入込観光客数 ・産業まつり ・うまいもんまつり	目標年度	令和元年度
			目標値	30,000 人	
			実績値	19,000 人	
			達成度	63.3 %	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	既存の事業展開を含め、NPO法人としての事業展開(他地域に向いての特産物の積極的な販売PRの実施、観光ガイド等地域リーダーの育成等)が必要であり、町の支援が必要と考える。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	法人化移行後の事業展開により、イベント開催や観光客誘引の体制強化が図られたものと判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	NPO法人(民間)としての強みを活かした活動計画を進めており、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減 その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	特定の団体(NPO法人)に対する補助だが、町が積極的に行うべき役割も担っていることから、公平性は確保されていると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
町とは異なる立場から観光PRに取り組んでいる団体であり、町が積極的に支援を行う必要がある。	同左	

今後の展開方向 (Action) <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: center;">↓</div> </div>	継続/現状維持 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">同左</div>	継続/現状維持 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">同左</div>
---	---	---

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050150

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5	観光の振興	事 業 優 先 度		A	
単位施策	1	雄武観光の売り込み	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	観光PR事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 年 度	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	観光客の増				#N/A	
事業目標	観光客10万人以上		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関 係 例 規 ・ 法 令 名	無		
町民協働	無		関 係 個 別 計 画 名	無		

全 体 計 画		平 成 30 年 度	令 和 元 年 度	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	観光パンフレット発行 雄武町公認キャラクター作成 特産品PR用品購入 観光PR & 物産販売支援事業 雄武町公認キャラクターを活用したPR活動	○観光パンフレット作製(刷新) 【15,000部】 ～1,000千円 ○雄武町公認キャラクター作成 ・キャラクターデザイン作成 ・商標登録事前調査 ・商標登録出願 ～670千円	○観光パンフレット作製(増刷) 【15,000部】 ～810千円 ○雄武町公認キャラクター作成 ・着ぐるみ作成 ・マニュアル作成 ・商標登録 ～2,060千円 ○特産品PR用品購入 ・焼酎【50本】～70千円 ・韃靼そば茶【200袋】～40千円 ○観光PR & 物産販売支援事業 ・旅費、冷蔵庫借上料、送料 ～260千円	○観光パンフレット作製(増刷) 【15,000部】 ～825千円 ○観光PR & 物産販売支援事業 ・旅費、冷蔵庫借上料、送料 ～260千円 ○雄武町公認キャラクターを活用したPR活動費 ～180千円 ○特産品PR用品購入 ・焼酎【100本】～140千円 ・焼酎贈答用箱～60千円	○観光パンフレット作製(増刷) 【15,000部】 ～825千円 ○観光PR & 物産販売支援事業 ・旅費、冷蔵庫借上料、送料 ～260千円 ○雄武町公認キャラクターを活用したPR活動費 ～180千円 ○特産品PR用品購入 ・焼酎【100本】～140千円	○観光パンフレット作製(増刷) 【15,000部】 ～825千円 ○観光PR & 物産販売支援事業 ・旅費、冷蔵庫借上料、送料 ～260千円 ○雄武町公認キャラクターを活用したPR活動費 ～180千円 ○特産品PR用品購入 ・焼酎【100本】～140千円
	事業費(千円)	9,185	1,670	3,240	1,465	1,405
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	9,185	1,670	3,240	1,465	1,405	1,405
実 績 事 業 費	事業費(千円)	4,418	1,422	2,996	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	4,418	1,422	2,996			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		観光パンフレット作製 15,000部 雄武町公認キャラクターデザイン 作成、商標登録出願	観光パンフレット作製 15,000部 着ぐるみ作成 商標登録		
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
			A-継続/現状維持	A-継続/現状維持		
	第5期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	観光客10万人以上	観光客10万人以上	観光客10万人以上	観光客10万人以上
		年度達成率	85%	92%	0%	0%
	後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	15%	48%	48%	48%
	備考欄					

事業名	観光PR事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町外からの観光客	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	観光パンフレット作成及び観光客数								
抱える課題やニーズ	観光入込み数が横ばい若しくは減少傾向にある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	雄武町の観光資源の魅力を十分にPRし、通過型観光から滞在体験型観光への転換を図る。	① 観光パンフレット作製部数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>15,000部</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>15,000部</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	15,000部	実績値	15,000部	達成度	100.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	15,000部										
実績値	15,000部										
達成度	100.0%										
その結果、どのような成果を実現したか ※成果=目的	観光客の来訪により町内経済の活性化が見込める。	② 観光客10万人以上	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>100,000人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>140,000人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>140.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	100,000人	実績値	140,000人	達成度	140.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	100,000人										
実績値	140,000人										
達成度	140.0%										
内容(どのような手段で何をを行ったか)	観光パンフレットの作成(刷新)	オールカラー(24ページ)の観光パンフレット15,000部を作成した。									
	雄武町公認キャラクター着ぐるみの作成	雄武町公認キャラクターの着ぐるみを作成した。									
	雄武町公認キャラクター商標登録	雄武町公認キャラクターのデザイン・キャラクター名について、商標登録を完了した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	観光客が減少傾向にあるなか、本町の観光をPRすることは急務であることから、事業の実施が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	本町の観光情報の収集手段としてパンフレット提供依頼が数多く寄せられており、媒体としての効果を発揮できる。また、公認キャラクターを作成することは、本町のPR並びにイベントの集客力向上に繋がることから有効的である。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	観光パンフレットの作成数については、年度内消費数を勘案し、必要部数を適宜更新(作成)しており、また、公認キャラクターの作成にあたっては、複数の専門業者から見積りを徴するなど、適正な価格で発注していることから効率的である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

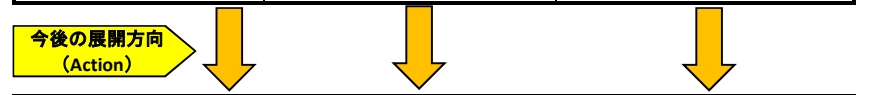
公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	本町の観光PRを行うことは、町民全員が期待するところであり、また、町内事業者の収益力向上にも繋がることから公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本町の観光情報の収集手段としてパンフレット提供依頼が数多く寄せられており、媒体としての効果を発揮している。また、公認キャラクターを作成することは、本町のPR並びにイベントの集客力向上に繋がることから、計画どおりの事業実施が必要と判断する。		



継続/現状維持
各事業者における物産等については、観光協会がHPをリニューアルし詳細な情報を掲載していることから、今後も観光地や町の概要等に特化したパンフレットを作成するため、継続していく必要がある。また、公認キャラクターの作成により、本町の認知度向上を図っていく。

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050160

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5	観光の振興	事 業 優 先 度		A	
単位施策	2	雄武観光の魅力化	政 策 事 務 分 類	1	単独自治事務(例規)	
事業名	観光施設維持管理事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	観光エリアの景観形成				#N/A	
事業目標	美しく安全な施設維持		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	有	日の出岬管理条例	
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 30 年度 事 業 内 容	令和 元 年 度 事 業 内 容	令和 2 年 度 事 業 内 容	令和 3 年 度 事 業 内 容	令和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	1 日の出岬施設維持管理委託	1 日の出岬施設維持管理委託 ・キャンプ場、海浜公園、 サンライズ広場～4,930千円 ・展望台～1,680千円	1 日の出岬施設維持管理委託 ・キャンプ場、海浜公園、 サンライズ広場～5,100千円 ・展望台～1,630千円	1 日の出岬施設維持管理委託 ・キャンプ場、海浜公園、 サンライズ広場～5,400千円 ・展望台～1,655千円	1 日の出岬施設維持管理委託 ・キャンプ場、海浜公園、 サンライズ広場～5,400千円 ・展望台～1,655千円	1 日の出岬施設維持管理委託 ・キャンプ場、海浜公園、 サンライズ広場～5,400千円 ・展望台～1,655千円	
	2 神門の滝維持管理委託						2 神門の滝維持管理委託 130千円
計 画 事 業 費	事業費(千円)	42,035	6,740	6,870	13,825	7,300	
	財源内訳	国庫支出金	0				
		道支出金	0				
		地方債	0				
		その他	5,000			5,000	
一般財源	37,035	6,740	6,870	8,825	7,300	7,300	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	13,160	6,342	6,818	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	0				
		道支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	13,160	6,342	6,818				
関 連 事 項	特定財源の名称	【 評 価 ・ 実 績 】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	地域振興事業基金繰入金		日の出岬施設維持管理委託 神門の滝維持管理委託	日の出岬施設維持管理委託 神門の滝維持管理委託			
	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果		
	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持				
第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	施設3	施設3	施設4	施設3	施設3	
	年度達成率						
		94%	99%	0%	0%	0%	
後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	15%	31%	31%	31%	31%	
	備考欄						

事業名	観光施設維持管理事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	観光客等のキャンプ場利用者等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	維持管理施設数及びキャンプ場利用者数								
抱える課題やニーズ	老朽化による修繕箇所の増加	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	計画的な改築・修繕によるサービス機能の向上、定期的な清掃による美観の維持	① 維持管理施設数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>3施設</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>3施設</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	3施設	実績値	3施設	達成度	100.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	3施設										
実績値	3施設										
達成度	100.0%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	観光客(特にリピーター)の増加	② キャンプ場利用者数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>10,000人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>12,386人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>123.9%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	10,000人	実績値	12,386人	達成度	123.9%
目標年度	令和元年度										
目標値	10,000人										
実績値	12,386人										
達成度	123.9%										
内容(どのような手段で何をを行ったか)	維持管理・清掃業務の委託	日の出岬キャンプ場及び周辺施設並びに神門の滝の維持管理・清掃業務委託									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	夏期においてはキャンプ客等による利用、冬期間においては流水観光客が利用しており、通年通しての維持管理が必要である。また、観光施設の景観を保つため、定期的な整備が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	天候等の外的要因に左右されやすい施設であるが、多くの人が訪れており、当町の観光拠点として役割は果たしている。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	本施設の維持管理業務に精通している業者へ発注することにより、あらゆる面での維持管理コストを抑制できており、効率的である。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民及び観光客が多く利用する施設の維持管理であることから公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
道の駅と並ぶ当町の代表的観光スポットとして多くの観光客が訪れる場所であることから、適切な施設維持のため、計画どおりに事業を進める必要がある。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
従来の維持管理業務に加え、施設の老朽化に伴う整備も必要になっていることから、策定した観光マスタープランに則り、計画的に整備する必要がある。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050170

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5	観光の振興	事 業 優 先 度		B	
単位施策	2	雄武観光の魅力化	政 策 事 務 分 類	1	単独自治事務(例規)	
事業名	メモリアル広場等維持管理事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	施設の適正な維持管理				#N/A	
事業目標	3施設		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	有	メモリアル広場設置条例他	
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	メモリアル広場、健康の森、中山間活性化施設緑地の維持管理	メモリアル広場、健康の森、中山間活性化施設緑地の維持管理委託～3,450千円 健康の森散策路改修工事～1,000千円	メモリアル広場、健康の森、中山間活性化施設緑地の維持管理委託～3,450千円	メモリアル広場、健康の森、中山間活性化施設緑地の維持管理委託～3,610千円 メモリアル広場周辺環境整備工事～500千円	メモリアル広場、健康の森、中山間活性化施設緑地の維持管理委託～3,610千円	メモリアル広場、健康の森、中山間活性化施設緑地の維持管理委託～3,610千円
	事業費(千円)	19,230	4,450	3,450	4,110	3,610
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	19,230	4,450	3,450	4,110	3,610	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	7,092	3,969	3,123	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	7,092	3,969	3,123			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		・メモリアル広場維持管理委託 ・健康の森維持管理委託 ・中山間雄武活性化施設維持管理委託 ・健康の森散策路改修工事	・メモリアル広場維持管理委託 ・健康の森維持管理委託 ・中山間雄武活性化施設維持管理委託		
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続(継続有り)	年度目標値	3施設	3施設	3施設	3施設
		年度達成率	89%	91%	0%	0%
	後期計画への継続(継続有り)	全体達成率	21%	37%	37%	37%
	備考欄					

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050180

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5	観光の振興	事 業 優 先 度		B	
単位施策	2	雄武観光の魅力化	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	サンライズ王国運営助成事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	まちづくり事業の開催及び参加				#N/A	
事業目標	多様な事業(イベント、景観美化)		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関 係 例 規 ・ 法 令 名	無		
町民協働	無		関 係 個 別 計 画 名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	本町のまちづくり事業を行うにあたっての助成	王国に対する助成	王国に対する助成	王国に対する助成 新イベント開催	王国に対する助成 新イベント開催	王国に対する助成 新イベント開催
	事業費(千円)	1,800	300	300	400	400
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	1,800	300	300	400	400	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	600	300	300	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	600	300	300			
関 連 事 項	特定財源の名称	【 評 価 ・ 実 績 】	(実施内容等) サンライズ王国に対する助成	(実施内容等) サンライズ王国に対する助成	(実施内容等)	(実施内容等)
第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体
	年度達成率	100%	100%	0%	0%	0%
後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	17%	33%	33%	33%	33%
	備考欄					

事業名	サンライズ王国運営助成事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	サンライズ王国	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	補助団体数	
抱える課題やニーズ	会員の減少に伴う独自事業の縮小		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
どのような状態になることを目指したのか(意図)	会員数増加、主催事業の開催	① 補助団体数	目標年度	令和元年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	青年・異業種間交流による町おこし原動力の創出		目標値	1 団体
		実績値	1 団体	
内容(どのような手段で何をを行ったか)	補助金の支出	②	達成度	100.0 %
	サンライズ王国実行委員会への補助金の交付		目標年度	令和元年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	会員数及び事業数が減少している中、町や他団体が行う事業に積極的に参加協力しており、今後、町おこしのための新規事業展開が期待されることから、継続支援は必要と判断される。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	会員数の減少により主催事業は実施していないが、町や他団体が行う事業に積極的に参加協力していることから、支援は有効であると判断できる。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	会員数及び事業数の減少にも関わらず、町や他団体が行う事業に積極的に参加協力していることから効率的と判断される。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減 その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	特定団体への補助であるが、町や他団体が行う事業に積極的に参加協力していることから、公平性は確保されていると判断できる。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
会員数及び事業数の減少にも関わらず、町や他団体が行う事業に積極的に参加協力しており、町おこしの一翼を担っている。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町おこしの一翼を担う団体であることから継続支援は必要であるが、主催事業の開催、観光協会等との連携など、より主体的な取り組みを期待する。		

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050190

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5	観光の振興	事 業 優 先 度		A	
単位施策	2	雄武観光の魅力化	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	日の出岬整備事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和2年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	施設整備の強化				#N/A	
事業目標	日の出岬整備(3業務)		ハート／ソフト 事業区分	1	ハード事業	
町民参加	無		関 係 例 規 ・ 法 令 名	無		
町民協働			関 係 個 別 計 画 名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	日の出岬の整備を行い、観光客の利便性及び、集客増を図る。	○日の出岬展望台トイレ洋式化改修工事【4基(男1・女3)】 ～2,400千円 ※平成29年度補正繰越事業 ○日の出岬キャンプ場炊事場・看板改修工事 ～3,540千円 ※平成29年度補正繰越事業 ○日の出岬海浜公園街路灯LED化工事 ～1,620千円 ※平成29年度補正繰越事業	○日の出岬キャンプ場散策路整備工事(イルミネーション設置他) ～1,600千円 ○日の出岬キャンプ場駐車場舗装改修工事 ～400千円	○日の出岬展望台周辺木柵撤去工事 ～3,500千円		
	事業費(千円)	5,500	0	2,000	3,500	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	5,500	0	2,000	3,500		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	6,264	5,940	324	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	6,264	5,940	324			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 日の出岬展望台トイレ外1件改修工事 日の出岬キャンプ場街路灯LED化改修工事	(実施内容等) 日の出岬キャンプ場駐車場舗装改修工事	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】					
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続(継続有り)	年度目標値	3業務	2業務	1業務	
	後期計画への継続(継続無し)	年度達成率	#DIV/0!	16%	0%	#DIV/0!
		全体達成率	108%	114%	114%	114%
	備考欄					

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050200

政策目標	1	【躍動感あふれる産業のまち・雄武】～地域産業の振興と雇用の創出～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5	観光の振興	事 業 優 先 度		A	
単位施策	3	おもてなし力の強化	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	オホーツクサイクリング事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和元年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	実行委員会		関 係 課		#N/A	
事業指標	オホーツクサイクリングの開催				#N/A	
事業目標	年1回		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	実行委員会に対する事業負担 前夜祭実行委員会に対する負担 受入れ・歓迎事業の開催	1 実行委員会に対する負担 450千円 2 前夜祭実行委員会に対する 負担730千円 3 受入れ・歓迎事業の開催 1, 320千円	1 実行委員会に対する負担 450千円 2 前夜祭実行委員会に対する 負担730千円 3 受入れ・歓迎事業の開催 1, 320千円			
	事業費(千円)	5,000	2,500	2,500	0	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
事業費(千円)	5,000	2,500	2,500			
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	954		954		
事業費(千円)	5,545	2,619	2,926	0	0	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		・実行委員会負担金 ・前夜祭実行委員会負担金 ・受入れ・歓迎事業の開催 ・参加者数合計 503名 212km 323名 日帰りコースほか 180名	・実行委員会負担金 ・前夜祭実行委員会負担金 ・受入れ・歓迎事業の開催 ・参加者数合計 745名 212km 530名 日帰りコースほか 215名		
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	年1回	年1回		
		年度達成率	105%	117%	#DIV/0!	#DIV/0!
	後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	52%	111%	111%	111%
		備考欄				

事業名	オホーツクサイクリング事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	サイクリスト	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	実施回数及び参加者数	
抱える課題やニーズ	新鮮味が薄れていることから、参加費の軽減を含め、老若男女を問わず参加しやすい体制の検討が必要である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	オホーツクライン、とりわけ出発地点である当町の観光PRの効果は大きいと考え、本事業の実施を図る。	① 実施回数	目標年度	令和元年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	参加者の維持、雄武町のPR		目標値	1回
			実績値	1回
		② 参加者数	達成度	100.0%
			目標年度	令和元年度
			目標値	1,000人
			実績値	745人
			達成度	74.5%
内容(どのような手段で何をを行ったか)	実行委員会への負担金支出	オホーツクサイクリング実行委員会への負担金支出		
	前夜祭実行委員会への補助	オホーツクサイクリング前夜祭実行委員会への補助金交付		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民の間でも参加者へのもてなしの意識が定着しており、観光PRの効果も大きいことから、町の一大イベントとして確立している。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	本事業の実施による広告媒体や、道内外からの参加者を通じた雄武町のPR効果は大きく、費用対効果の面からも概ね有効と判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	近年参加者は減少傾向にあったため、惜しまれつつも本年度で大会は終了となるが、38年間に及ぶ大規模なスポーツイベントを通じ、オホーツク地域の価値向上につながった事業であり、効率的と判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町を挙げての一大イベントとして定着しており、多くの集客がある事業であるため、町民の理解を得られているものと判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
ラストランとなった本大会では、過去大会の参加者がエントリーするなど前年を上回る多くの参加があり、雄武町の観光PRやオホーツク地域の価値向上に寄与してきた大会の最後を華々しく飾ることができた。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
終了			
町を挙げての一大イベントとして定着していたが、参加者の減少などにより第38回大会(令和元年度)をもって終了した。			

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 09050210

政策目標	4	【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	18	防犯・交通安全の推進	事 業 優 先 度		B	
単位施策	1	防犯体制の強化	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	消費者協会運営補助事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課	4	住民生活課	
事業指標	消費者問題			6	地域包括支援センター	
事業目標	消費トラブル相談件数5件		ハート／ソフト事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	消費者協会への運営費補助	消費者協会への運営費補助 ・消費苦情相談 ・消費トラブル防止啓発 ・消費価格調査 ・その他	消費者協会への運営費補助 ・消費苦情相談 ・消費トラブル防止啓発 ・消費価格調査 ・その他	消費者協会への運営費補助 ・消費苦情相談 ・消費トラブル防止啓発 ・消費価格調査 ・その他	消費者協会への運営費補助 ・消費苦情相談 ・消費トラブル防止啓発 ・消費価格調査 ・その他	消費者協会への運営費補助 ・消費苦情相談 ・消費トラブル防止啓発 ・消費価格調査 ・その他
	事業費(千円)	1,000	200	200	200	200
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	1,000	200	200	200	200	
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	400	200	200	0	0	
関 連 事 項	特定財源の名称	【 評 価 ・ 実 績 】	(実施内容等) 消費者協会への運営費補助 消費トラブル相談件数 1件	(実施内容等) 消費者協会への運営費補助 消費トラブル相談件数 1件	(実施内容等)	(実施内容等)
第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	相談件数5件	相談件数5件	相談件数5件	相談件数5件	相談件数5件
	年度達成率	100%	100%	0%	0%	0%
後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	20%	40%	40%	40%	40%
	備考欄					

事業名	消費者協会運営補助事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	柳谷 周一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	雄武町消費者協会		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	消費相談件数	
抱える課題やニーズ	協会事業の運営(会費徴収)は健全だが、協会員の高齢化、消費相談体制(専門者育成)の不足が課題となっている。			指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
どのような状態になることを目指したのか(意図)	会員の活動強化、消費相談専門体制の確立により、通年恒久的な消費対策事業の実施・啓発		① 消費相談件数	目標年度	令和元年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	町民(消費者)の日常消費生活上の安全性が確保される。			目標値	5件
			実績値	1件	
内容(どのような手段で何をを行ったか)	運営補助金の支出	毎月20日に行われる定例消費相談、協会員向け情報提供、消費生活展の開催等、協会の活動に対する補助			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	組織の運営は健全だが、消費相談に対応する専門員の育成が急務であり、町が事務局を担う状況の解消、民間レベルでの運営体制の確立が必要と考える。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	現実には消費相談対応は事務局が行っており、その点においては課題が残る。啓発事業等の活動については概ね達成しているものと判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	運営補助金については、現状の運営状況から必要最低限の補助であり、充分削減しているものと判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

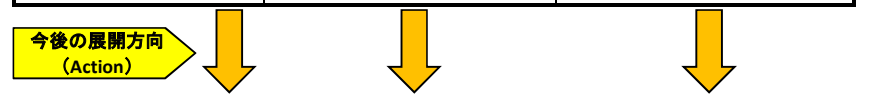
公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	任意団体ではあるが、町民広くを対象とした相談業務・啓発活動等を行っており、公平性は確保されていると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
消費相談件数は目標を下回っているが、相談があった事案については、確実に対応しており、また、会員の高齢化、消費相談専門員の育成等の課題等が解消されるまでは、現状どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
会員の高齢化、消費相談専門員の育成等の課題等が解消されることにより、消費者のニーズに応えるサービスが行え、消費者が安全に生活できる体制が構築できる。健全な協会の運営のため、継続実施する必要がある。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 休止 廃止